

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	板 金 Ⅲ	分類	必修 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年1学期	時限数	70 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 22 時限 実習: 48 時限 1時限は、90分
授業内容	車両の基本構造の復習、ボデー修理の基礎を身に付ける。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボデー構造各部の名称、役割、材料の確認。 ・ボデー修理(小ダメージ)で使用する工具、機器及び修正機の取り扱いが出来る。 ・保護具の役割を覚える。安全作業が出来る。 		

授業計画

時限	項 目	内 容	時限	項 目	内 容
1	安全衛生・危険予知	ボディー修理作業安全の特異性・安全衛生活動(KYT)	36	総合実習 2	中ダメージの修理(実車、修正機)1
2	ボディー構造	ボディーの基本構造(フレーム・モック)	37	総合実習 3	中ダメージの修理(実車、修正機)2
3	鋼板材料・種類	熱間圧延・冷間圧延・高張力・防錆鋼板の性質と特性	38	総合実習 4	中ダメージの修理(実車、修正機)3
4	小ダメージの修理	小ダメージ車の一連作業	39	総合実習 5	中ダメージの修理(実車、修正機)4
5	損傷範囲の確認	小ダメージ範囲の確認方法 効率的な作業方法	40	総合実習 6	中ダメージの修理(実車、修正機)5
6	ハンマーリング(パネル修正)	ハンマードリーによる修正(オン、オフドリー)	41	総合実習 7	中ダメージの修理(実車、修正機)6
7	機器・工具取り扱い	エア・電動・油圧機器取り扱い、工具・機器の名称と点検整備	42	総合実習 8	中ダメージの修理(実車、修正機)7
8	ハンマーリング1	ハンマーの持ち方・振り方、正しい打根跡、面修正の反復練習	43	総合実習 9	中ダメージの修理(実車、修正機)8
9	ハンマーリング2	定盤ナラシ(ハンマーリングによる打撃面チェック)	44	総合実習 10	中ダメージの修理(実車、修正機)9
10	ハンマーリング3	オンドリー(パネルスタド)ハンマードリーによる鋼板ナラシ	45	総合実習 11	中ダメージの修理(実車、修正機)10
11	ハンマーリング4	ドリーの持ち方ドリーの選択、加工	46	総合実習 12	中ダメージの修理(実車、修正機)11
12	ハンマーリング5	オフドリー(パネルスタンド)	47	総合実習 13	中ダメージの修理(実車、修正機)12
13	鋼板修正(小ダメージ)	手順(損傷範囲確認→見積・作業方法の基本→作業時間の基準)	48	総合実習 14	中ダメージの修理(実車、修正機)13
14	ワッシャ溶植1	溶植手順・ワッシャ溶植の原理・絞り種類と原理	49	総合実習 15	中ダメージの修理(実車、修正機)14
15	ワッシャ溶植2	塗膜のはがしかた ワッシャ溶植の手順	50	総合実習 16	中ダメージの修理(実車、修正機)15
16	ワッシャ溶植3	パワーロックスタンドの使用法	51	総合実習 17	中ダメージの修理(実車、修正機)16
17	絞り作業、防錆	点絞り、カーボン絞りの要点、焼け跡の処理、防錆について	52	総合実習 18	中ダメージの修理(実車、修正機)17
18	絞りの手順	絞りの手順(タイマー、電流)カーボン絞り	53	総合実習 19	中ダメージの修理(実車、修正機)18
19	実車ダメージ修正1	損傷確認～鋼板修正1	54	総合実習 20	中ダメージの修理(実車、修正機)19
20	実車ダメージ修正2	損傷確認～鋼板修正2	55	総合実習 21	中ダメージの修理(実車、修正機)20
21	実車ダメージ修正3	鋼板修正	56	総合実習 22	中ダメージの修理(実車、修正機)21
22	実車ダメージ修正4	鋼板修正～塗膜はがし	57	総合実習 23	中ダメージの修理(実車、修正機)22
23	実車ダメージ修正5	鋼板修正～絞り	58	総合実習 24	中ダメージの修理(実車、修正機)23
24	バテ整形	ファイル・ペーパーの使い分け・チェック方法(目視・定量的)	59	溶接(突合せ)1	溶接技術の向上
25	バテへの加工	新品バテへの加工方法	60	溶接(突合せ)2	溶接技術の向上
26	バテ練り	バテ練り への動かし方、バテ定盤の使い方	61	溶接(突合せ)3	溶接技術の向上
27	フェザーエッジ	フェザーエッジの作り方	62	溶接(突合せ)4	溶接技術の向上
28	バテ塗布1	バテ塗布(硬化剤あり)	63	溶接(突合せ)5	溶接技術の向上
29	バテ塗布2	ドア等の単純面	64	学科試験まとめ	学科模擬練習
30	バテ塗布3	複合面の盛り方	65	学科試験まとめ	学科模擬練習
31	バテ研ぎ1	バテ研ぎファイルの種類、ペーパーの使える目安	66	学科試験まとめ	学科模擬練習
32	バテ研ぎ2	機械研ぎ(エアール具を使った機械研ぎ)	67	学科試験1	トヨタ検定3級問題
33	バテ研ぎ3	単純面研ぎ	68	学科試験2	トヨタ検定4級問題
34	バテ研ぎ4	複合面研ぎ	69	実技復習1	実技試験1
35	総合実習 1	中ダメージの修理(実車、修正機)1	70	実技復習2	実技試験2

授業外学習	.4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー&ペイントテキストボデー編
教材	・ドアパネルスタンド、ドアアウターパネル、NZE120 修正機
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点上取らなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、平常点及び学科試験・実技試験を合計したものが評価となる。平常点は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業	【 ○ 】
科目名	塗 装 Ⅲ	分類	必修 ・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年1学期	時限数	70 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 5 時限 実習: 65 時限 1時限は、90分
授業内容	実車を使用した塗装作業を実施していくことで塗装技術の向上を図る		
修得目標	・塗装の種類により各塗装の技術を身につける ・1人で下地処理、調色、マスキング、上塗り、磨きの作業が出来るようにする。 AIカラーシステムの取扱いを修得する。		

授業計画

時限	項 目	内 容	時限	項 目	内 容
1	オリエンテーション、安全衛生	塗装作業の安全と衛生	36	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
2	スプレーガン知識	ガンの使用方法の復習	37	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
3	スプレーガン知識	ガンの使用方法の復習	38	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
4	スプレーガン知識	ガンの使用方法の復習	39	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
5	下地処理	下地処理の目的と工程	40	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
6	下地処理	下地処理の目的と工程	41	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
7	ハネル足付け	足付けの目的・機器取り扱い・足付けの方法	42	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
8	ハネル足付け	足付けの目的・機器取り扱い・足付けの方法	43	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
9	ハネル足付け	足付けの目的・機器取り扱い・足付けの方法	44	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
10	調色	調色の目的・調色に必要な知識・調色に必要な機器	45	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
11	調色	調色の目的・調色に必要な知識・調色に必要な機器	46	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
12	実車総合 下地処理	バンパー、アウトサイドハンドル、モール類取り外し	47	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
13	実車総合 下地処理	スクラッチ傷補修、キズの除去	48	車両塗装(メリック)②	メタリック、ぼかし塗装
14	実車総合 下地処理	ブラサフ用足付け、ラッカーバフ塗布、ラッカーバフ研磨、リパースマスキング、ブラサフ塗装	49	車両塗装(メリック)③	メタリック、ぼかし塗装
15	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	50	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
16	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	51	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
17	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	52	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
18	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	53	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
19	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	54	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
20	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	55	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
21	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	56	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
22	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	57	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
23	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	58	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
24	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	59	車両塗装(メリック)③	3コートパール塗装
25	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	60	まとめ	実習場4S
26	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	61	まとめ	実習場4S
27	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	62	まとめ	実習場4S
28	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	63	学科まとめ	復習プリント
29	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	64	学科まとめ	復習プリント
30	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	65	学科まとめ	復習プリント
31	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	66	学科まとめ	復習プリント
32	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	67	学科試験	学科試験
33	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	68	学科試験	学科試験
34	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	69	実技試験	実技試験
35	車両塗装(メリック)①	塗り継ぎ塗装、塗装方法、ガン操作、メタリック、ブロック塗装	70	実技試験	実技試験

授業外学習	.4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	ペイントテキスト、ペイントビジュアルマニュアル(DVD)
教材	スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器、その他(塗料、研磨材、マスキング材、磨き材)
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点上取らなければならない。進級、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、平常点及び学科試験・実技試験を合計したものが評価となる。平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ポデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	総合整備Ⅲ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年1学期	時限数	70 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 1 時限 実習: 69 時限 1時限は、90分
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車を構成する代表的な装オーバーホール技能の習得 ・実車を使用した車両整備 		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の機能を満足させるための作動原理を知る。 ・修理書を使ったオーバーホール作業が出来る。 ・実走行が安心して出来る車両整備の実施 		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	授業の内容や目的、進め方の説明	36	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
2	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	37	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
3	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	38	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
4	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	39	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
5	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	40	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
6	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	41	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
7	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	42	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
8	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	43	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
9	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	44	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
10	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	45	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
11	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	46	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
12	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	47	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
13	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	48	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
14	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	49	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
15	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	50	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
16	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	51	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
17	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	52	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
18	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	53	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
19	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	54	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
20	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	55	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
21	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	56	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
22	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	57	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
23	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	58	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
24	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	59	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
25	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	60	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
26	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	61	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
27	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	62	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着
28	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	63	実車整備	完成検査
29	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	64	実車整備	完成検査
30	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	65	実車整備	完成検査
31	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	66	実車整備	完成検査
32	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	67	学科試験	学科試験
33	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	68	学科試験	学科試験
34	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	69	実技練習	実技練習
35	実車整備	エンジン脱着、オーバーホール、走行装置、制動装置の脱着	70	実技練習	実技練習

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかれば1日の復習となる。
教科書	トヨタサービス技術テキスト導入編、1～3ステップ
教材	シリンダブロックASSY、シリンダヘッドASSY、オルタネータASSY、スタータモータASSY、エレキパネルSET、実車
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければならない。試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、100点満点中、合格60点以上の得点に達しなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、学科試験点数、実技試験点数、平常点数を合計したものが評価となり、平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 】	
科目名	自主研究	分類	必修 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年1学期	時限数	36 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照口		学科: 時限 実習: 36 時限 1時限は、90分
授業内容	板金、塗装技術の中から特化した研究課題を立案する。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・板金、塗装技術の向上が出来る。 ・板金、塗装作業探求し、研究課題や作業内容の立案が出来る。 ・保護具の役割を理解する。 ・安全作業ができる。 		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入1	自主研究について1	30	作業研究25	自己課題に応じた作業練習を行う25
2	導入2	自主研究について2	31	作業研究26	自己課題に応じた作業練習を行う26
3	課題探求1	板金、塗装を研究し自己課題を見つける。1	32	作業研究27	自己課題に応じた作業練習を行う27
4	課題探求2	板金、塗装を研究し自己課題を見つける。2	33	作業研究28	自己課題に応じた作業練習を行う28
5	作業準備	自己課題に応じた準備を行う。	34	作業研究29	自己課題に応じた作業練習を行う29
6	作業研究1	自己課題に応じた作業練習を行う1	35	作業研究30	自己課題に応じた作業練習を行う30
7	作業研究2	自己課題に応じた作業練習を行う2	36	まとめ	まとめ
8	作業研究3	自己課題に応じた作業練習を行う3			
9	作業研究4	自己課題に応じた作業練習を行う4			
10	作業研究5	自己課題に応じた作業練習を行う5			
11	作業研究6	自己課題に応じた作業練習を行う6			
12	作業研究7	自己課題に応じた作業練習を行う7			
13	作業研究8	自己課題に応じた作業練習を行う8			
14	作業研究9	自己課題に応じた作業練習を行う9			
15	作業研究10	自己課題に応じた作業練習を行う10			
16	作業研究11	自己課題に応じた作業練習を行う11			
17	作業研究12	自己課題に応じた作業練習を行う12			
18	作業研究13	自己課題に応じた作業練習を行う13			
19	作業研究14	自己課題に応じた作業練習を行う14			
20	作業研究15	自己課題に応じた作業練習を行う15			
21	作業研究16	自己課題に応じた作業練習を行う16			
22	作業研究17	自己課題に応じた作業練習を行う17			
23	作業研究18	自己課題に応じた作業練習を行う18			
24	作業研究19	自己課題に応じた作業練習を行う19			
25	作業研究20	自己課題に応じた作業練習を行う20			
26	作業研究21	自己課題に応じた作業練習を行う21			
27	作業研究22	自己課題に応じた作業練習を行う22			
28	作業研究23	自己課題に応じた作業練習を行う23			
29	作業研究24	自己課題に応じた作業練習を行う24			
30	作業研究25	自己課題に応じた作業練習を行う25			

授業外学習	・4時限の研究課題のまとめに1～2時間かかり、これが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー & ペイントテキストボデー編、ボデー & ペイントテキストペイント編
教材	・研究課題により車両等 スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない

トヨタ東大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	エステメーション	分類	必修 ・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年2学期	時限数	26 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 26 時限 実習: 時限 1時限は、90分
授業内容	事故車の修理における板金塗装料金見積もり方法を学ぶ。		
修得目標	自動車の外板・外装部品の構造が判断できる 事故車の修理方法が判断できる 事故車の損傷診断が出来る 事故車の板金塗装料金の見積もりが出来るようになる		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	事故修理受付	事故修理受付、保険の知識	31		
2	見積もりとは	見積もりの重要性	32		
3	車両構造	車両構造、モノコック、機能部品	33		
4	鋼材の特性	鋼板の特性、修理方法の判断	34		
5	修理費用の設定	修理費用の設定、修理時間、関連作業、料金算定料	35		
6	ボデーの修理技術	修理技術、要素	36		
7	料金算定	標準作業時間のない作業の脱着、取替	37		
8	塗装の目的	塗装の基礎知識、塗料成分と乾燥	38		
9	塗装修理方法の判断	補修塗装方法の判断要素	39		
10	塗装作業時間の算出	標準作業時間の構成、標準条件	40		
11	見積書の作成手順	見積り手順・見積り方法	41		
12	板金塗装見積	ボデー修理料金の算出	42		
13	フロント見積り作成1	フロント 中ダメージ車両の見積書を作成する1	43		
14	フロント見積り作成2	フロント 中ダメージ車両の見積書を作成する2	44		
15	フロント見積り作成3	フロント 中ダメージ車両の見積書を作成する3	45		
16	側面見積り作成1	側面 中ダメージ車両の見積書を作成する1	46		
17	側面見積り作成2	側面 中ダメージ車両の見積書を作成する2	47		
18	側面見積り作成3	側面 中ダメージ車両の見積書を作成する3	48		
19	側面見積り作成4	側面 中ダメージ車両の見積書を作成する4	49		
20	側面見積り作成5	側面 中ダメージ車両の見積書を作成する5	50		
21	リヤ見積り作成	リヤ 中ダメージ車両の見積書を作成する1	51		
22	リヤ見積り作成	リヤ 中ダメージ車両の見積書を作成する2	52		
23	リヤ見積り作成	リヤ 中ダメージ車両の見積書を作成する3	53		
24	リヤ見積り作成	リヤ 中ダメージ車両の見積書を作成する4	54		
25	リヤ見積り作成	リヤ 中ダメージ車両の見積書を作成する5	55		
26	学科試験	見積り業務の基礎知識、見積書作成	56		
27			57		
28			58		
29			59		
30			60		

授業外学習	見積り問題の復習1時間～2時間
教科書	エステメーションテキストステップ1、事故受付対応テキスト、トヨタ標準作業マニュアル
教材	ボデー修理料金表、ワークシート
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。 試験は、学科試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければ、卒業は出来ない。 不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。 総合評価は、学科試験が評価となる。

トヨタ東大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 】	
科目名	インターンシップ(実務実習)	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	120 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 0 時限 実習: 120 時限 1時限は、90分
授業内容	インターンシップにより、将来の業務内容を体験し、身に付けるスキルや目標を持つ。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学んだ知識、技術が参加する企業で役立つか体験し、今後の授業等で何が重要であるか判断できる。 ・変わり行く日本の自動車業界で何をすべきか考察できる。 		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	自動車整備1	各企業での実作業1	91	自動車整備91	各企業での実作業91
2	自動車整備2	各企業での実作業2	92	自動車整備92	各企業での実作業92
3	自動車整備3	各企業での実作業3	93	自動車整備93	各企業での実作業93
4	自動車整備4	各企業での実作業4	94	自動車整備94	各企業での実作業94
5	自動車整備5	各企業での実作業5	95	自動車整備95	各企業での実作業95
6	自動車整備6	各企業での実作業6	96	自動車整備96	各企業での実作業96
7	自動車整備7	各企業での実作業7	97	自動車整備97	各企業での実作業97
8	自動車整備8	各企業での実作業8	98	自動車整備98	各企業での実作業98
9	自動車整備9	各企業での実作業9	99	自動車整備99	各企業での実作業99
10	自動車整備10	各企業での実作業10	100	自動車整備100	各企業での実作業100
		↓	101	自動車整備101	各企業での実作業101
			102	自動車整備102	各企業での実作業102
			103	自動車整備103	各企業での実作業103
74	自動車整備74	各企業での実作業74	104	自動車整備104	各企業での実作業104
75	自動車整備75	各企業での実作業75	105	自動車整備105	各企業での実作業105
76	自動車整備76	各企業での実作業76	106	自動車整備106	各企業での実作業106
77	自動車整備77	各企業での実作業77	107	自動車整備107	各企業での実作業107
78	自動車整備78	各企業での実作業78	108	自動車整備108	各企業での実作業108
79	自動車整備79	各企業での実作業79	109	自動車整備109	各企業での実作業109
80	自動車整備80	各企業での実作業80	110	自動車整備110	各企業での実作業110
81	自動車整備81	各企業での実作業81	111	自動車整備111	各企業での実作業111
82	自動車整備82	各企業での実作業82	112	自動車整備112	各企業での実作業112
83	自動車整備83	各企業での実作業83	113	まとめ1	発表準備1
84	自動車整備84	各企業での実作業84	114	まとめ2	発表準備2
85	自動車整備85	各企業での実作業85	115	まとめ3	発表準備3
86	自動車整備86	各企業での実作業86	116	まとめ4	発表準備4
87	自動車整備87	各企業での実作業87	117	まとめ5	発表準備5
88	自動車整備88	各企業での実作業88	118	まとめ6	発表準備6
89	自動車整備89	各企業での実作業89	119	まとめ7	発表準備7
90	自動車整備90	各企業での実作業90	120	実技試験	実技報告会

授業外学習	インターンシップ事前説明 2時間、レポート作成4時間、報告会資料作成4時間
教科書	職場先輩用テキスト STEP1
教材	インターンシップレポート
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>インターンシップレポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>総合評価はインターンシップ先評価50点 実習報告会での発表50点、計100満点の60点以上取らなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	板 金 IV	分類	必修・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年2学期	時限数	35 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 3 時限 実習: 32 時限 1時限は、90分
授業内容	溶接技術の向上 張力鋼板の取り扱い		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接系外板部品の取り付け方に合わせた溶接方法が出来る。 ・建付け、防錆作業が出来る。 ・保護具の役割を理解して、安全作業を身に付ける。 		

授業計画

時限	項 目	内 容	時限	項 目	内 容
1	鋼板材料	自動車に使われる鋼板材料について	31	溶接1	外板のプレスラインから順番に仮付けしていく
2	ボデー構造	ボデー構造の確認	32	溶接仕上げ	見える部分、隠れる部分など修理書でよく確認してあげる
3	溶接機	各溶接機の取り扱いの確認	33	防錆処理	溶接部の焼け跡などしっかり処理する
4	溶接機	各溶接機の取り扱いの確認	34	完成検査	完成検査
5	溶接技術の向上	溶接作業練習	35	実技試験	実技試験
6	溶接技術の向上	溶接作業練習			
7	溶接技術の向上	溶接作業練習			
8	溶接技術の向上	溶接作業練習			
9	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
10	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
11	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
12	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
13	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
14	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
15	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
16	外部講習	ボデー溶接セミナー参加(超高張力鋼板対応)			
17	アライニング1	一学期の復習			
18	アライニング2	ダメージの入力方向、大きさを考えながらアライニング作業を計画する			
19	アライニング3	各部の寸法を確認しながら、正確なアライニングをする			
20	アライニング4	残留応力と応力抜きハンマリング			
21	部品確認	取替え部品の品番確認、形状確認			
22	2次損傷防止	作業をすることによって起こる			
23	粗切り	交換部品のはがしをしやすくするために、粗切りをする			
24	鋼板修正	一学期の復習			
25	精度確認	残す側の部品を新品部品の精度に合わせるために修復する			
26	重ねきり準備	外板部の突合せ溶接実施箇所を重ねきりする為にテーピングする			
27	パネルの取り外し	交換部品をすべてはがして、穴のあいた部分などは穴埋めする。			
28	溶接準備1	ボデー側の溶接準備をする			
29	仮組み1	交換部品を仮組みして寸法だしをする			
30	溶接準備	積装品などをとりはずして溶接準備をする			

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	・車体整備、ボデー&ペイントテキストボデー編
教材	・フレーム修正機、スポット溶接機、炭酸ガスアーク溶接機、
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、学科、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>成績評価は、平常点及び学科試験・実技試験を合計したものが評価となる。平常点50数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	塗装Ⅳ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	35 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 7 時限 実習: 28 時限 1時限は、90分
授業内容	ボデー磨き ボデーコーティング		
修得目標	1人でボデー磨きからコーティング作業が出来る		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	ボデーコーティング	ボデーコーティングの流れ	31	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業
2	ボデーコーティング	自動車の塗装・塗膜(塗装について・塗膜構成)	32	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業
3	ボデーコーティング	塗膜を傷める要因(汚れ 鉄粉 キズについて)	33	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業
4	ボデーコーティング	洗剤の基礎知識(合成洗剤 洗浄剤)	34	まとめ	
5	ボデーコーティング	下地処理の基礎知識(鉄粉除去、コンパウンド、パフとポリッシャー)	35	まとめ	
6	ボデーコーティング	コーティング剤の基礎知識(WAXとコーティング剤 種類と特徴)			
7	ボデーコーティング	完成検査の必要性			
8	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
9	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
10	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
11	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
12	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
13	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
14	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
15	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
16	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
17	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
18	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
19	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
20	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
21	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
22	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
23	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
24	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
25	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
26	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
27	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
28	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
29	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			
30	ボデーコーティング	実車にてコーティング作業			

授業外学習	4時限の授業内容のレポートの作成に1～2時間のかかり、これが1日の復習となる。
教科書	ペイントテキスト、ペイントビジュアルマニュアル
教材	スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器、その他(塗料、研磨材、マスキング材、磨き材)
成績評価の方法と基準	授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。 授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。 試験は、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上を取らなければ卒業は出来ない。 不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。 総合評価は、平常点及び実技試験を合計したものが評価となる、平常点50数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	総合整備Ⅳ	分類	必修・選択必修・選択
履修時期	1年2学期	時限数	47 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照口		学科: 7 時限 実習: 40 時限 1時限は、90分
授業内容	実車車両を使用した作業		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンのオーバーホールができる ・エアコン修理を習得する ・GTS(外部診断機)の取り扱いが出来る 		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	授業の内容や目的、進め方の説明	31	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール
2	故障診断	GTSの使い方	32	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール
3	故障診断	GTSの使い方、ヘルスチェック	33	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール
4	故障診断	GTSの使い方、ヘルスチェック	34	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール
5	故障診断	GTSの使い方、ヘルスチェック	35	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール
6	故障診断	GTSの使い方、ヘルスチェック	36	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール
7	故障診断	GTSの使い方、ヘルスチェック	37	エアコン修理	実車を使用したエアコンの機器取り扱い
8	エンジン修理	GTSの使い方、ヘルスチェック	38	エアコン修理	実車を使用したエアコン修理
9	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール注意点	39	エアコン修理	実車を使用したエアコン修理
10	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	40	エアコン修理	実車を使用したエアコン修理
11	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	41	エアコン修理	実車を使用したエアコン修理
12	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	42	まとめ	まとめ
13	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	43	まとめ	まとめ
14	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	44	まとめ	まとめ
15	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	45	まとめ	まとめ
16	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	46	まとめ	まとめ
17	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	47	実技試験	実技試験
18	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	48		
19	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	49		
20	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	50		
21	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	51		
22	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	52		
23	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	53		
24	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	54		
25	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	55		
26	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	56		
27	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	57		
28	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	58		
29	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	59		
30	エンジン修理	実車を使用したエンジンのオーバーホール	60		

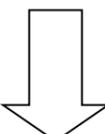
授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	エンジン修理書 トヨタステップ2, 3
教材	アルテツァ パブリカ チェイサー
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>試験は、実技試験があり、100点満点中、合格60点以上の得点に達しなければ、進級、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、実技試験点数、平常点数を合計したものが評価となり、平常点数は、レポート30点、出席10点、行動10点を点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 】	
科目名	卒業研究	分類	必修 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年3学期	時限数	115 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 1 時限 実習: 114 時限 1時限は、90分
授業内容	板金又は塗装において研究課題を設定し取り組む。		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> 研究課題を絞り込み研究課題を明確にする。 研究によって発生した問題点及び失敗点を考察し、得た知識・技術をまとめ発表が出来る。 		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	卒業研究1	卒業研究の取り組みについて	91	卒業研究91	研究課題の作業87
2	卒業研究2	研究課題の設定1	92	卒業研究92	研究課題の作業88
3	卒業研究3	研究課題の設定2	93	卒業研究93	研究課題の作業89
4	卒業研究4	研究課題の設定3	94	卒業研究94	研究課題の作業90
5	卒業研究5	研究課題の作業1	95	卒業研究95	研究課題の作業91
6	卒業研究6	研究課題の作業2	96	卒業研究96	研究課題の作業92
7	卒業研究7	研究課題の作業3	97	卒業研究97	研究課題の作業93
8	卒業研究8	研究課題の作業4	98	卒業研究98	研究課題の作業94
9	卒業研究9	研究課題の作業5	99	卒業研究99	研究課題の作業95
10	卒業研究10	研究課題の作業6	100	卒業研究100	研究課題の作業96
11	卒業研究11	研究課題の作業7	101	卒業研究101	研究課題の作業97
12	卒業研究12	研究課題の作業8	102	卒業研究102	研究課題の作業98
13	卒業研究13	研究課題の作業9	103	卒業研究103	研究課題の作業99
14	卒業研究14	研究課題の作業10	104	卒業研究104	研究課題の作業100
15	卒業研究15	研究課題の作業11	105	卒業研究105	研究課題の作業101
16	卒業研究16	研究課題の作業12	106	卒業研究106	まとめ
17	卒業研究17	研究課題の作業13	107	卒業研究107	まとめ
			108	卒業研究108	まとめ
			109	卒業研究109	まとめ
			110	卒業研究110	まとめ
			111	卒業研究111	まとめ
			112	卒業研究112	まとめ
			113	卒業研究113	まとめ
84	卒業研究84	研究課題の作業80	114	卒業研究114	研究発表1
85	卒業研究85	研究課題の作業81	115	卒業研究115	研究発表2
86	卒業研究86	研究課題の作業82			
87	卒業研究87	研究課題の作業83			
88	卒業研究88	研究課題の作業84			
89	卒業研究89	研究課題の作業85			
90	卒業研究90	研究課題の作業86			

授業外学習	研究レポートの作成に1～2時間のかかり、これが1日の復習となる。
教科書	・車体整備 ・ペイントテキスト、ペイントビジュアルマニュアル ・ボデー&ペイントテキストボデー編
教材	スプレーガン、塗装練習用パネル、ポリッシャー、計量器、その他(塗料、研磨材、マスキング材、磨き材)、溶接機
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>授業レポートを提出しなければ、試験を受験出来ない。</p> <p>評価は、発表を実技試験とし、合格点は、100点満点中の60点以上取らなければ、卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、実技試験と平常点が評価となる。平常点は、レポート30点、出席10点、行動10点とし点数で評価する。</p>

トヨタ東自大シラバス

修得目標と授業計画

学科名	ボデークラフト研究科	実務経験を有する教員による授業 【 ○ 】	
科目名	総合整備Ⅴ	分類	必修 ・ 選択必修 ・ 選択
履修時期	1年3学期	時限数	14 時限
担当者	トヨタ東京自動車大学校授業担当者名簿参照		学科: 2 時限 実習: 12 時限 1時限は、90分
授業内容	実作業に向けた多頻度作業訓練		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> 外部診断機の取扱いを覚える。 フロントガラス撥水コーティング作業(手作業)が出来るようになる エンジンオイル、エレメント交換作業が出来るようになる タイヤ交換、バランス調整作業が出来るようになる。 部品の知識、プロのエンジニアとしての基本動作、販売店での立ち居振る舞いが出来る。 		

授業計画

時限	項目	内 容	時限	項目	内 容
1	導入	授業の内容や目的、進め方の説明	31		
2	多頻度作業Ⅰ 1	洗車(外装清掃)、室内清掃(内装清掃)	32		
3	多頻度作業Ⅰ 2	上記作業訓練の反復 1	33		
4	消耗部品の知識 1	エンジンオイル、オイルフィルター	34		
5	消耗部品の知識 2	タイヤ、バッテリー	35		
6	多頻度作業Ⅱ 1	フロントガラス撥水コーティング	36		
7	多頻度作業Ⅱ 2	上記作業訓練の反復 1	37		
8	外部診断機1	外部診断機の取扱い1	38		
9	外部診断機2	外部診断機の取扱い2	39		
10	多頻度作業Ⅲ 1	エンジンオイル、オイルエレメント交換	40		
11	販売店スタッフとして1	プロのエンジニアとしての基本動作	41		
12	販売店スタッフとして2	トヨタ販売店のルール	42		
13	販売店スタッフとして3	販売店店舗での立ち居振る舞い	43		
14	習得状況の確認 1	擬似顧客車両1を用いて受付～作業	44		
15			45		
16			46		
17			47		
18			48		
19			49		
20			50		
21			51		
22			52		
23			53		
24			54		
25			55		
26			56		
27			57		
28			58		
29			59		
30			60		

授業外学習	4時限分の授業レポートをまとめるために、1～2時間かかりこれが1日の復習となる。
教科書	プリウス、アクアの各電子技術マニュアル、取扱い説明書
教材	GTS、VIM、HV車(プリウス30、40、55、アクア)、オイルドレーン、タイヤチェンジャー、ホイールバランスサー、洗車道具一式
成績評価の方法と基準	<p>授業は、すべての時間出席しなければならない。また、遅刻早退、欠席した場合は補講を受講しなければならない。</p> <p>試験は、実技試験があり、合格点は、100点満点の60点以上取らなければならない。卒業は出来ない。</p> <p>不合格者または、未受験者には、再試験、追試験制度もある。</p> <p>総合評価は、実技試験の点数が評価となる。</p>